◎授業事後検討会記録用紙

第（　５　）学年「　電流が生み出す力　」

記録者（　　千　葉　和　昌　　　　　）（　　　　　　　　　　　　　　）

|  |  |
| --- | --- |
| 発言者 | 内容 |
| 自　評  （小川）  グループ討議  Aグループ  Cグループ  Dグループ  小川  授業者より  指導・助言  教育事務所岩淵先生 | ・子供たちが実験をする中で結果を予想すること，実験結果をどう考察するかを重視した授業。  ・ホワイトボードを利用して意見を出し合いながら，程度の差はあるが，全員が意見を言えていたと思う。ワークシートを見ても，全員が意見を書いていた。  ・クラスには学習塾に通う子が多いため，塾でも習っていないものを取り上げることで，実験への意欲を高めたかったから，教科書には無い実験を取り上げた。  ・子供たちの書いたホワイトボードに，思考がよく現れていたと思う。  改善策　視点１について  ・実験の前に条件の確認を行うと良い。全体で示しておくことで，そのあとの活動で変えた条件に着目したのではないか  変える条件　　銅線の太さ  変えない条件　電池２個使う  〈成果〉  ・提案的な中身があってよかった。子供たちは主体的に実験を行っていた。うまくいかなかったらやり直しをする姿もあった。  ・クリップの工夫，コイルの持ち手の安全性，実験セットの工夫など，仕掛けが工夫されていた。  ・見通しと予想の場面がよかった。予想の場面では今日やりたかったものがほとんど出ていたので，最後のつなげ方が大切だと思う。  〈課題〉  ・４班５班の考えた図の扱い  改善策　グループの考えを真ん中に書いて，足りなかった部分を周りに言葉で書いていくと，全体の考えがよく出たホワイトボードになる。全体で説明させるとよい。  ・考察をスパッと書かせたい  改善策　結果を整理してから考察を書かせるといいのではないか。それは，銅線を太くしたときの電流に焦点化させた結果の整理。実験結果として，電流の数値を黒板にも書く欄があると尚よい。  ・電流の強さを予想する段階  改善策　乾電池２個分の確認があるとよかった。変わらないと予想していた子には，電流の強さについてどのように解釈していたのか考えを聞くと，相互理解の対話活動につながる機会だった。  〈成果〉  ・教科書にない実験内容，子供たちも興味を持っていて楽しそうだった  ・目に見えない電気について，よく考察していた  〈課題〉  ・結果と考察が不明瞭だった。  改善策　結果はデータとして見たままを。そこから考えられる考察を区別して考えさせたい。  ・ホワイトボードにも結果と考察が混在していた。  改善策　結果と考察を整理して，言葉を補ったりつなぎ合わせたりしたものを書かせるとよい。  黒板の表に電流を書いてしまうと一目瞭然で，「電流が大きくなっているから決まりだ。」と子供たちが考えるのを止めてしまう。書かなかったのは，取れたクリップの数が増えた理由を自分たちの実験結果から気付かせ，グループの話し合いの中で考えさせたいと考えたからだ。ただ，前段階で子供たちからも出ていたので，結果の見通しの段階で教師も話題として扱い，ホワイトボードの中にも表れていたようだ。  質問されたことが，自分の中で考えが足りなかったところや授業する中で迷っていたところ，まとめきれなかったところだ。電圧や電流は子供たちにとってなかなか扱いにくいところなので，いかに子供が比較し，考え，整理するのか，教師が声掛けをしたり条件をきちんと示したりしてあげることだと思う。子供たちは実験自体は楽しんでやるので，その前と後を整えることが大切だ。考察のさせ方を今後も工夫したい。自分が結果と考察の区別を説明できるように考えを持っていきたい。  普段とは違った体育館という環境での授業，実験で，子供たちも先生も緊張したと思うが，子供たちは集中して生き生きと活動していた。授業前の動画クリップで和ませる工夫もよかった。授業では顔をしっかり上げて学習していた。また大きな声で自信を持って発表していた。これは学級全体に良好な人間関係がしっかり作られていた結果である。普段の授業や学級作りの成果が現れた授業だった。  指導案と単元の目標を見ると，条件の制御に着目させて指導していたのは素晴らしい。５年生でポイントとなるところである。児童の実態について，予想を立てるところに苦手意識があると書かれているが，今日の授業では予想やその根拠をしっかり立てていた。先生が普段から予想と根拠を立てさせる授業づくりを大切にしていたためだと思う。理科にとって，予想や仮説を立てる活動は，見通しを持って観察，実験を行う上でとても大切になる。時間がないとその予想や仮設の時間が確保できないまま，すぐ実験になりがちである。視点２について，今日は少し緊張していたのか遠慮していた様子だったが，ホワイトボードには順番に書いたり話し合ったりする様子が見られた。普段から話し合い活動を意識して指導するとよい。教科書に無かった課題を設定したことについて，児童の実態から考えると良い，意欲的に子供が取り組む課題だった。予想を確認して，予想通りになった場合の結果を見通す活動場面では，ノートが子供たちの思考の記録になるように活用している点がよい。自分の考えや友達の考えを書かせていきたい。授業の中で，実験について変える条件と変えない条件についてじっくり考えさせる時間がとれなかったのは残念。実験場面では，先生が丁寧に班を回って指導していたのは良い。一人一人を大切にする姿勢が一番。実験の準備が素晴らしかった。クリップの工夫もいいアイデア。子供たちも実験手順に従って役割分担を決めて主体的に学んでいた。回路もスムーズに組めていて，実験に慣れている様子だった。考察場面について，時間の関係もあり教師指導で行ったところもあった。結果をしっかりと確認させ，考察をもっとじっくり行わせて子供たちの言葉でまとめられると更に良かった。  今後も子供たち一人一人を大切にした学級づくり，授業づくりに取り組んでほしい。 |